

令和6年度 当初予算案のポイント(一般会計の概要)

- 教育・保育給付費や児童手当改正等によるこども育成費の増や、教育環境の充実等による教育費の増、物価高騰緊急支援給付金等により、一般会計の予算規模は**5年度当初に引き続き1兆円を超え、過去最大**。
- 納税義務者数の増加や、企業収益の改善、土地評価額の上昇等に伴い、市税収入は**過去最高を更新**。市税収入の増加等に伴い、地方交付税等は減少。
- 6年度は、市債残高の縮減など財政規律を保ちつつ、重点事業をはじめ特に取組みを強化すべき施策・事業を積極的に推進することにより、**財政の規律と投資のバランスを図りながら、福岡という都市の価値を戦略的に高める**予算を編成。
- 6年度末の**一般会計の市債残高見込みは着実に減少**。
臨時財政対策債を除く一人当たり市債残高は、**残高ピーク時(H16年度)の半分を下回る**。

● **一般会計の予算規模は過去最大** (令和5年度当初予算)
1兆825億円 (3.1%) (1兆498億円)

● 歳入

○ **市税は固定資産税・都市計画税の増等により過去最高を更新**
3,706億円 (1.4%) (3,656億円)

○ **実質的な地方交付税は市税の増加等に伴い減少**
515億円 (▲1.9%) (525億円)

(内訳)

・地方交付税	430億円	(365億円)
・臨時財政対策債	85億円	(160億円)

○ **一般財源総額は5年度当初を上回る**
5,127億円 (2.6%) (4,995億円)

○ **市債発行額は減少**
600億円 (▲9.6%) (664億円)

(参考) 市債残高見込みは着実に減少 【 】内は令和5年度末見込み

一般会計	1兆1,003億円 (▲253億円)	【 1兆1,257億円 】
全会計	1兆8,193億円 (▲594億円)	【 1兆8,787億円 】
一人当たり市債残高	90万円 (残高ピーク時の平成16年度 185万円)	

※ 臨時財政対策債を除く

● 歳出

○ **こども育成費・教育費ともに過去最大(+308億円)**

○ **物価高騰緊急支援給付金などに伴い社会保障関係費が増加**
3,442億円 (11.5%) (3,087億円)